第72回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第7日目 5月25日(土)

準決勝 石 巻 工	石巻市民球場 業 0 0 0 0	0 0 時間	42 分	0	【石】 24 2 0 1	签 犠 四 三 残 1 0 1 10 4	失 併 1 0
仙 台 育	英 1 0 0 1	0 5 x		7	【仙】 25 10 6 4	4 2 3 1 5	1 0
(球) _佐藤	± (一) 水戸 恭平	(二) 森山 宏則	(7回コールド (三) 山下 大輔) .	▽本塁打	佐々木(仙)	
【石】	渡邉	一 早坂			▽三塁打	なし	
【仙】	井須,尾形	一 川尻				なし	(石)
▽暴投 な	L	▽捕	逸 なし		▽二塁打	なし	(祖)

【仙台	育 英 】	打数	安打	打点
(中)右	倉田 葵生	4	0	0
(左)	土屋 璃空	3	2	1
走	原 亜佑久	0	0	0
投	尾形 陽聖	0	0	0
()	和賀 颯真	3	1	0
(捕)	川尻 結大	2	1	1
(右)左	佐々木 義	3	2	1
(三)	髙田 庵冬	3	1	2
(<u></u>)	今野 琉成	3	2	1
走中	菊 池 蓮	0	0	0
(投)	井須 大史	2	1	0
打	田山纏	0	0	0
	中岡 有飛	0	0	0
(遊)	砂涼人	1	0	0

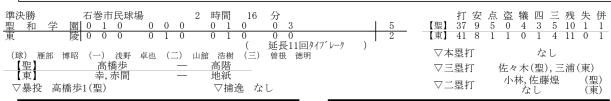
【石巻	大 業 】	打数	安打	打点
(遊)	遠藤 徹平	3	0	0
(一)	遠藤 颯汰	3	0	0
(捕)	早坂 太志	3	1	0
(右)	岩槻 遼大	3	0	0
(左)	髙松 駿希	3	1	0
(中)	鈴木 淳大	3	0	0
(<u>_</u>)	髙橋 海星	2	0	0
(投)	渡邉 裕月	2	0	0
(三)	渥美 太誠	2	0	0

投手名	打数	投球数	投球回数	998 UB	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
井須 大史	21	95	6	0	2	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0
尾形 陽聖	3	11	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

书	步手名	打数	投球数	投球回数	99848	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
渡	邉 裕月	24	93	5	2	10	1	1	1	1	2	1	0	0	7	6

【評】

仙台育英が勢いに乗る石巻工業を下し、決勝進出と東北大会出場を決めた。仙台育英は初回、連打で一死一三塁の好機をつかみ、4番川尻の犠飛で先制。4回には5番佐々木の大会第4号本塁打で追加点を挙げる。反撃したい石巻工業は5回、先頭の5番高松の安打と盗塁で好機をつかむも得点を挙げることができない。今季初登板の石巻工業渡邉は5回まで2失点と好投していたが、6回4連打と盗塁でリズムを崩し、捕手早坂の送球にもほころびが出て5失点。石巻工業は初の決勝進出と2005年以来の東北大会出場を目指したが、残念ながら果たすことはできなかった。



【東	陵	打数	安打	打点
(中)	佐 藤 禅	5	1	0
(<u></u>)	石渡 玲和	5	0	0
(遊)投	赤間朔	5	2	0
()	三浦 颯天	4	2	1
(三)	齋藤 仁成	5	1	0
(右)	小 山 翔	5	1	0
(捕)	地紙 遥斗	4	0	0
(左)	菊田 勇治	3	0	0
打左	小澤 柊晃	1	0	0
(投)	幸 壮太郎	4	1	0
遊	池田 太陽	0	0	0

1 望 1	」 子 園 】	打釵	女们	打点
(左)	太田元	4	0	0
(右)	l 村上 大晟	3	0	0
(中)	佐々木 敬	5	2	3
(三) 一	佐藤 煌馬	5	3	1
走一	車田 力斗	0	0	0
(一)	小 林 新	4	1	0
	畠山 一葉 高橋 歩汰	1	1	0
(投)		4	2	0
(二) 三	澁谷 優汰	3	0	1
(遊)	上司 丈瑠	1	0	0
打	熊田 良輝	1	0	0
遊	佐藤 暖大	3	0	0
(捕)	高階 敢太	3	0	0

投手名	打数	投球数	投球函数	998 UB	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
幸 壮太郎	32	139	10	1	6	0	4	0	4	2	1	0	0	5	3
赤間 朔	5	15	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

Г	投手名	打数	投球数	投球回数	交球器 电数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
	高橋 歩汰	41	144	11	0	8	0	0	0	4	1	0	1	0	2	2
L																
L																
ı																

【評】

決勝進出と東北大会出場の残る1枠をかけた東陵と聖和学園の一戦は、聖和学園が延長11回タイブレークの激闘を制し、初の決勝進出を果たした。2回に聖和学園が7番澁谷のスクイズで先制するも、5回に東陵は4番三浦の適時打で追いつく。その後8回に両チームが1点ずつ取り合い、試合は延長戦へと突入する。11回に聖和学園は一死2・3塁から3番佐々木の中越え適時三塁打と4番佐藤煌の中前適時打で3点を挙げた。その裏の東陵の攻撃を封じ、息詰まる激闘に終止符を打った。